

# 森林と人とのなげたい 通信 森倶楽部 21

2021年2月 第224号

私たちは、里山の自然に触れ、その地域の暮らしに学ぶ活動をしています。  
長野県安曇野市の長峰山が主な活動場所です。  
里山はたくさんの生きもののよりどころです。  
たくさんの人と、この豊かな自然を分かち合い、  
未来に引き継いでいくことが願いです！

## 活動から

### 《チョウの産卵調査》

日時：12月1日（火）9:30～12:30 天気：晴れ 参加会員：5人【蝶の森活動】

活動場所：蝶の森、長峰山山頂への遊歩道

活動内容：チョウの産卵調査、枝の片付け、アカマツの倒木処理

朝は冷え込んだが、日中は暖かくなり、気持ちよい作業日になった。

浜栄一先生のお弟子さんである白金町会育成部自然観察会の会員2名の指導で、11月17日に伐採したコナラ、カスミザクラの枝へのゼフィルス産卵調査を行った。この数年、産卵調査

をしていなかったため、どんな結果になるか期待して行った。

ミズイロオナガシジミ 2卵、アカシジミ 1卵の確認ができた。7人による約2時間の調査で3卵しか見つけられなかったことは、蝶の森の整備状態が関係しているのか・・・

様子を見ながら整備の仕方を検討していく必要があるようだ。

調査に使わない太い枝や観察を終了した小枝は西側チョウの道の下に運び、棚積みし、かさばらないようにチェーンソーでこなし

た。長峰山山頂への遊歩道鞍部に枯損アカマツの倒木があり、その処理も行った。



### 《作業道整備》

日時：12月13日（日）9:30～11:30 天気：晴れ 参加会員：9人【森林整備・集約化活動】

活動場所：矢ノ沢山林内作業道

活動内容：作業道の倒木処理

矢ノ沢地区森林整備協議会より2名が参加され、総勢11名での作業になった。矢ノ沢山の神社下の北に入る作業道の整備は11月の活動に続いて2日目、3班に分かれて倒木の処理を行った。

まず、安全技術リーダーの声かけで安全作業に関する心得、支度等の確認をした。中には初卸の安全靴の履き心地を試してみる者もいた。



現場へは各自の車で移動。1班は、掛かり木になっているカラマツの処理、他の2班は、作業道をさらに進み、倒れて重なっているアカマツの処理をおこなった。若手の2名は、チェーンソーの扱い方を学びながら倒木を処理し、枯れ上がっているアカマツを根元から伐り倒すなどの作業をおこなった。切り刻んだ丸太をトビで道下へと移動。協議会メンバーのトビ使いは見事だ。

2班は近接して作業をしており、森林整備チームリーダーは、両班の安全、技術指導に気を張っていたが、思いがけないアクシデントもあった。



1名が伐った木が、下方にいた者の首をかすめて倒れた。直径3cm程のニセアカシアである。細い木という気の緩みもあったのであろう。トゲが刺さらなくて良かったと皆で胸を撫でおろしたが、上下作業は声をかけておこなうようにしなければならない。

予定した倒木の処理が終わったので、早めに現場を引き上げ、作業の振り返りをおこなった。協議会で用意してくれた清水地区の「ちいさいぱんや」のパンをいただいて、解散した。

## 《矢ノ沢 山の神社冬の大祓い》

日 時：12月13日（日）13:00～14:30 天気：晴れ 参加会員：4人、矢ノ沢常会6人

【きより館活動】

活動場所：矢ノ沢山の神社

活動内容：山の神社大祓い



作業道整備の後、森林整備・安全技術チームリーダー、理事長、副理事長で山の神社の大祓いに参加した。神主さんも常会の方もいつもと違う顔ぶれに喜ばれていた。

いろいろな人が常会の人と触れ合うことは良いことだと思う。

閉会后、きより館の神棚に御札を納めて解散した。これで新しい年を迎える準備が整った。

## 《矢ノ沢地区 三九郎》

日 時：1月10日（日）8:30～11:30 天気：晴れ 参加会員：14人 会員家族：5人

矢ノ沢常会5人【きより館活動】

活動場所：矢ノ沢地区公民館

活動内容：三九郎作りと三九郎

矢ノ沢地区で行われた三九郎に森倶楽部21も参加した。例年会員のみで参加していたが、今年はお子さんのいる会員に子ども連れの参加を誘ったところ、3人のお子さんの参加があった。当初公民館内での新年会を予定していたが新型コロナ感染拡大で中止し、屋外での三九郎作りと三九郎焼きの参加となった。

晴れて氷点下となった午前8時30分、矢ノ沢地区公民館前の広場へ集合した。矢ノ沢常会の方は既に集まって常会長が作ったドラム缶ストーブの周りで暖を取っていた。





新型コロナ感染予防のためマスク着用と手指の消毒をして、常会長、永田理事長の挨拶の後、青竹を伐り出すグループと組み上げるグループとに分かれて三九郎作りにとりかかった。



まず公民館東側のゲートボール場跡中央に1本木の杭を打ち、既に用意してあった長い青竹を中心に6本の竹を上部で縛ったものを立て、中心の竹を杭に縛り付け他の5本の竹の下部を開き5角錐の枠を作った。その中に稲わらとススキを詰め三九郎の櫓ができた。それに伐り出してきた何本もの青竹にダルマを付けたりしながら四方八方から立て掛け、しめ縄で締め、門松や正月飾り、上に飾れなかったダルマなどを飾り付け完成した。例年は三九郎の櫓は常会の方たちが作られ、我々は青竹と正月飾りを取り付ける役を担っていたが、今年は最初から参加することができ感慨もひとしおであった。

三九郎作り終了後、会員と家族の方々もきより館内の神棚の前に集まり、今年の活動の安全を祈願した。

点火までの時間、ドラム缶ストーブの周りに集まり飲み物とお菓子をいただきながら歓談した。木ろうそく（スウェーデントーチ）の披露もあり、子供たちは林産担当が用意した材料でブンブンコマを作って楽しそうに遊んでいた。

予定の時刻になり皆で道祖神に合掌後、三九郎を囲み今年の無病息災を祈願し、稲わらを使い三九郎に点火した。火は勢いよく青竹の笹に燃え移っていった。火の勢いが強くなると青竹がパンパンと音を立て弾けた。これが醍醐味である。火事に注意し熾火にした後、ヤナギの枝に刺した米粉で作った繭玉を焼きいただいた。



木ろうそく  
(スウェーデントーチ)



## 《樹木札作り》

日 時：1月25日（月）9:30～13:30 天気：晴れ 参加会員：6人 【林産物活用・蝶の森活動】

活動場所：朝日村クラフト体験館

活動内容：樹木札作成

年が明けてもコロナ禍は収まる気配が見られず、なんとなく気分は冴えないが感染対策と安全に配慮し、必要な作業をやることにして皆に呼びかけ、6名が集まった。

前日の雪で、予約した朝日村クラフト体験館までの道路状態が心配であったが、きちんと除雪され、青空の下、真っ白な畑の中の道を気持ちよく車を走らせる事ができた。





板への文字のトレース、ルーターでの文字の彫り込み、バリ取り、札の形成と板の作製を分担して行い、予定していた 16 枚の樹木札が完成した。

事前に樹木名の型紙印刷とそれに合った板との突き合わせができていたので、予定より早く終了した。

朝日村クラフト館は、遠くて借用費が掛かるのが難点だが、木工作業にはやはり最適でやりやすいと感じた。

## 2021 年 2 月・3 月・4 月活動予定

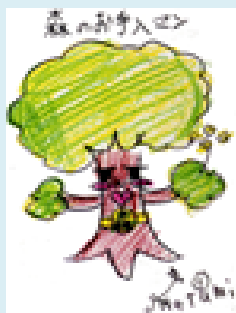
※未定の活動は例会において相談して決めます。

月	日	行 事	集 合 場 所	時 間
2 月	1 (月)	第 22 回本編集会議	笹賀公民館	13:00～
	13 (土)	例会	未定	13:30～
3 月	1 (月)	森に学ぶ・調査報告書 印刷・製本	庄内地区公民館	10:00～
	3 (水)	第 23 回本編集会議	笹賀公民館	13:00～
	13 (土)	例会	松南地区公民館	13:30～
	21 (日)	森林整備活動	きより館	9:30～
	28 (日)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～
4 月	未定	第 24 回本編集会議	未定	13:00～
	6 (火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
	11 (日)	森林整備活動	きより館	9:30～
	13 (火)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～
	14 (水)	例会	未定	19:30～
	18 (日)	通常総会	未定	未定
	20 (火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
25 (日)	絆の森活動 ミニ自然観察会	天平の森駐車場	9:30～	

※通信 2021 年 3 月号はお休みします。次回の発行は 4 月となります。

### 会員を募集しています！

見学や入会の申し込みは、  
随時受け付け中です。  
お気軽にお問い合わせください。  
一緒によい汗ながしませんか？



◇会費 正会員：3,000 円 賛助会員：4,000 円

- 編集者  
特定非営利活動法人  
森倶楽部 2 1 通信チーム
- 発行人 理事長 永田 千恵子
- 発行所 〒399-0033  
長野県松本市笹賀 2497-3
- TEL&FAX 0263-58-0360
- メール [mori21@yumedia.jp](mailto:mori21@yumedia.jp)
- URL <http://mori21.com/>
- <https://www.facebook.com/morikurabu21>